

# 先進事例の視察・研修

公明党

道の駅「四万十とおわ」と都市問題会議

清流四万十川の中域にある「道の駅四万十とおわ」は、四万十町の公設で「(株)四万十ドラマ」の指定管理で運営されています。



道の駅の森岡幸治駅長と

ドラマは、旧3町による第三セクターでしたが、合併の際にドラマが株を買って自立し、公募で畦地履正氏を社長に迎えました。畦地氏は、農協出身の経験を生かし、デザイナー梅原真氏と協力して、地栗の甘露煮など6次産業の商品を打ち出し、地域を巻き込んだ運営をされていました。民間と協力した町の活性化のヒントを得た視察でした。

第76回全国都市問題会議「都市と新たなコミュニティ」にも参加しました。

大空

全国都市問題会議に参加

平成26年10月9日から11日まで、高知県高知市で開催された都市問題会議「都市と新たなコミュニティ」に参加しました。

高知市の取り組みとして、「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」を策定し、若手市職員が市民と一緒に地域活動に参加していることなどが紹介されました。

本市では新たなコミュニティの創造等のため、地域支え合い推進事業を行っておりますが、自治会との役割が曖昧となっているため、今後行政が間に入って調整し、地域に協議会への理解を浸透させていく必要があるように思われました。



高知県県民文化ホールにて

レモン

人口減少時代と地方議会の在り方

平成26年8月6日、7日「第9回全国市議会議長会研究フォーラムin岡山」に参加しました。

増田寛也氏は、全国の自治体の半数が将来消滅する可能性があるとした日本創成会議の試算などを総人口、将来推計、年齢別データ等から解説しました。

地方中枢都市の機能強化、若者の就労、晩婚、晩産化などの課題を挙げ、「ふるさとで家庭を持って暮らせる社会の実現」を提言していました。

人口減少により財政力が低下している時代だからこそ、地域再生と自治体経営における地方議会の役割が問われていると感じました。



岡山シンフォニーホールにて

## 議会議員の辞職

大曾根英明議員が1月6日付けで議会議員を辞職しました。

## おわびと訂正

市議会だより第168号9ページ下段の写真の説明が誤っていました。

正 ⇒ 農業交流センターの雨水貯留タンク

誤 ⇒ 農村センターの雨水貯留タンク

おわびして、訂正させていただきます。

## 次回定例会のお知らせ

次回の平成27年第1回定例会は、2月25日(水)の開会予定です。

議会の日程は、開会日の5日前に決定し、市のホームページでご案内しています。

ホームページはこちらから

鶴ヶ島市議会

検索

## 編集

### 後記

今回、第4回定例会は、11月26日から12月16日までの日程で開催されました。

一般質問では、財政、人口減少、教育など鶴ヶ島市における諸問題について、15人の議員が登壇し、質問しました。

また、本定例会は、会期中に衆議院が解散し、師走の選挙が行われる中での定例会となりました。市民であり、県民であり、

国民である私たちにとって深く関わる選挙でした。

鶴ヶ島市議会議員の任期もあと3か月となりました。4年間、議会だよりのご愛読をありがとうございました。今後とも、議会だよりをよろしくお願ひいたします。

(議会議長)

委員長 持田敏明

副委員長 大野洋子

委員 山中基充

委員 出雲敏太郎

委員 内野嘉広

委員 松村和子